



平成30年1月1日修正会にて修正会に参拝された檀信徒の皆さん

成年はいつから

平成30年は、干支では丙戌つちのえ・いぬに当たります。

干支は中国暦に発し、十干十二支を組み合わせる年を数えます。

十干は

甲きのえ・乙きのと・丙ひのえ・丁ひのと・戊つちのえ・己つちのと・庚かのえ・辛かのと・壬みずのえ・癸みずのと

十二支は

子ね・丑うし・寅とら・卯う・辰たつ・巳み・午うま・未ひつじ・申さる・酉とり・戌いぬ・亥い

といます。

中国暦における年の数え方ですから、中国暦の新年から成年いぬどしになるわけです。

そのため旧正月の日、つまり西暦2018年2月16日から成年です。

年末大掃除

平成29年12月24日に、華頂婦人会の役員の方に、年末の大掃除をして頂きました。

境内や墓地をきれいにして頂きました。



平成29年12月24日、華頂婦人会役員の方々に年末の大掃除をして頂きました

年末大掃除

平成29年12月24日に、総代会の方に年末の大掃除をして頂きました。

墓地の側溝掃除や本堂・玄関・鐘楼・山門などをきれいにして頂きました。



平成29年12月24日、総代会役員の皆さんに年末の大掃除をして頂きました

住職二男宗光満行

平成29年12月25日に、住職二男の加藤宗光かとうしゅうこうが総本山知恩院伝宗伝戒道場を無事に満行し、浄土宗教師となりました。



住職家族左から長男良全 住職良光 寺庭婦人桂子 二男宗光

住職の短歌

平成29年に詠んだ短歌の続き([前回](#)は平成29年12月号)を掲載します。

一月の二十三日富士の山白と濃紺峻巖の色

その足の一步一步が物語り玉三郎の傾城の舞

三分咲き東京芝の増上寺梅の白さが新春告げる

福は内ごもつともまたごもつとも鬼と言わない寺の豆まき

立春の真澄の空を背に受けて伊吹の山は白の正装

菊川のお寺応声教院に皆でお参り説話拝聴

館山寺温泉宿に到着し檜の風呂に皆で入浴

浜松のフルーツパークいちご狩り温室の中皆の歓声

浜名湖の岸辺を巡る冬の旅寸座峠の店で昼食

禅寺の豊川稲荷妙巖寺地元人として先達をする

豊橋の名前由来の橋なかば左に見えるお城を示す

御堂にて恵心僧都の大遠忌天台座主の声は朗々

知恩院御堂正面涅槃像鈴鉦持って和讃唱え

寺行事案内

土曜礼拝 どようらいはい

毎週土曜日午前8時30分～9時

礼拝を含むお勤めです。本家、新家の別なく、どなたでもお参り下さい。

◇内容

1. 浄土日常勤行式
2. 法然上人御法語拝読
3. 住職の法話

◇法然上人御法語の予定

1月13日からは

- 前編第17章 易行往生
- 前編第18章 自身安穩
- 前編第19章 乗佛本願
- 前編第20章 難修観法

副住職説教 ふくじゅうしよくせつきょう

平成30年1月25日(木)午後7時～8時

この日は、浄土宗の開祖法然上人の祥月忌日です。法然上人は建暦2年(1212)の正月25日の正午、大谷の禅房(現在の知恩院勢至堂の場所)にてご往生なされました。お年は、お釈迦様と同じ80歳でした。法然上人のご生涯を普仙寺本堂に掛けた絵伝を指しながらお説教させていただきます。

寒念仏 かんねんぶつ

平成30年2月3日(土)午前7時30分～8時

暦でいう寒中の間のお参りを、寒参り、寒詣で、寒行といいます。浄土宗では特に寒念仏と呼んで、お参りします。ぜんざいの御接待をします。

※寒中(本年は1月5日から2月3日まで)

善光寺如来縁日 ぜんこうじによらいえんにち

平成30年2月8日(木)午後7時より

月並み要法にて善光寺の御詠歌をお唱えします。

月並法要 つきなみほうよう

平成30年2月8日(木)午後7時より

年回忌の祥月にあたる方のご回向をいたします。

御忌法要 ぎよきほうよう

平成30年2月17日(土)午前11時～午後3時

◇法要 午前11時～

◇法話 午後1時～2時幸田町三光院 鈴木 健祐 師

◇詠唱奉納 午後2時半～

法然上人の忌日法要を御忌ぎよきと呼びます。普仙寺ではこの地方の習慣に倣い、月遅れでお勤めします。